

# 海水サンプリング業務における傷病者発生 について

2019年6月14日



東京電力ホールディングス株式会社

# 海水サンプリング業務における傷病者発生について

1. 発生日時：2019年5月17日（金） 7時頃
2. 発生場所：物揚場付近
3. 事象の概要

発電所港湾内の海水サンプリングのため物揚場にて乗船する際に、ゴム製垂直梯子から手を滑らせ約1.5m下の船の角付近に右臀部を強打ち海へ転落した。

救急医療室では自力歩行ができない状態のため救急搬送し、救急車にて南相馬市立総合病院へ搬送した。

診察の結果、仙骨骨折（自然治癒による全治1か月）であり、痛みに応じて軽作業であれば就労可能と診断された。

## 4. 傷病者情報

- ・ 40代男性
- ・ 経験年数：29年1ヶ月
- ・ 装備：構内作業服、短靴、ゴム手袋、DSマスク、ライフジャケット



## 原因

### 【人】

- ①ゴム製垂直梯子の持ち手が適切でなかった。
- ②ゴム製垂直梯子からの乗船は、2回目であり3H(久しぶり)であった。

### 【物(設備)】

- ③ゴム製垂直梯子に滑り止めテープ貼付等の措置をしていなかった。
- ④ゴム製垂直梯子に手すりが無く、形状が悪かった。

### 【管理】

- ⑤通常、作業員は棧橋(写真参照)から乗船しているが、当日の時間帯は大潮で潮位が低く棧橋が使用出来なかったため、ゴム製垂直梯子を使用した。
- ⑥転倒、墜落、挟まれるの災害防止に関する注意事項の手順書への記載、作業予定表への垂直梯子昇降時の注意事項の記載及び、海上災害の防止に関わる過去の災害事例の教育を実施していなかった。

災害発生場所  
ゴム製垂直梯子



棧橋

## 再発防止対策

### ➤ 短期的対策

(対策の丸数字は原因の丸数字に対応)

#### 【人】

①②垂直梯子を使用する際は、3点支持を保ち梯子を昇降することについて、本作業の作業員全員に対して教育を実施する。

#### 【物(設備及び装備)】

- ③耐滑性の作業靴とグリップ力の高い手袋を使用する。
- ④地上から上方に手すりがある垂直梯子と踏棚を新たに設置する。  
縦バーを持たないように垂直梯子に注意喚起表示を行う。  
(写真参照)

#### 【管理】

- ⑤潮見表により大潮の時はサンプリング時間を変更し、水位が回復するまで待ち、本作業の船長及び船長補佐以外の作業員は棧橋を使用して移乗する。
- ⑥港湾関連作業での安全管理、装備品及び過去の災害事例を基に理解浸透を図る。
- ⑥船と岸壁への挟まれや移乗時の転倒、転落についてTBM-KYを実施するとともに「作業手順書」へ記載し標準化する。(安全装備装着のダブルチェック、垂直梯子の昇降時のルール、TBM-KY時の挟まれ、転倒、転落リスクの抽出)



<垂直梯子と踏棚の設置状況>  
(6/3設置済み)

## 再発防止対策

### ➤ 中期的対策

#### 【物(設備)】

⑤浮棧橋を設置する。(6月末日途)

#### 【管理】

⑤浮棧橋設置後は、潮位に関係なく使用できるため、本作業の作業員全員が浮棧橋を使用して移乗する。

<浮棧橋の設置イメージ>

